

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2010-500380(P2010-500380A)

【公表日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2009-524004(P2009-524004)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/24	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/24	Z N A
C 1 2 N	5/00	B
C 0 7 K	16/46	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	S
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月6日(2010.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ATCCアクセッション番号PTA-7778を有するハイブリドーマによって產生される抗IFN抗体と本質的に同じIFNエピトープと結合する抗体。

【請求項2】

抗体が、ATCCアクセッショ番号PTA-7778を有するハイブリドーマによって産生される抗IFN 抗体と同じエピトープと結合する、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

抗体が、インターフェロンアルファ（“IFN”）タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、K、4a、4b及びWAから成る群から選択される少なくとも2つのタンパク質サブタイプの生物活性を選択的に中和するが、INF タンパク質サブタイプDの少なくとも1つの生物活性は有意には中和せず、前記生物活性が、MxAプロモーターの活性化又は抗ウイルス活性であり、

任意に、抗体が、少なくとも8つのIFN タンパク質サブタイプを選択的に中和し、及び

更に任意に、抗体が、IFN タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、K、4a、4b及びWAの生物活性を選択的に中和するが、INF タンパク質サブタイプD及び1の生物活性は有意には中和しない、

請求項1又は2に記載の抗体。

【請求項4】

抗体が、以下から成る群から選択される1/2最大有効濃度( $EC_{50}$ )でIFN タンパク質サブタイプの生物活性を選択的に中和する、請求項1から3のいずれかに記載の抗体：

a) 約300ng/mL未満のIFN タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、4a、4b及びWA；及び

b) 約375ng/mL未満のIFN タンパク質サブタイプK。

【請求項5】

抗体が、前記IFN サブタイプの生物活性の少なくとも50%を中和し、前記生物活性がMxAプロモーターの活性化であり、

任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも60%を中和し、

更に任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも70%を中和し、

更に任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも80%を中和し、及び、

更に任意に、抗体が前記生物活性の少なくとも90%を中和する、

請求項1から4のいずれかに記載の抗体。

【請求項6】

抗体が、IFN -Aに対して少なくとも約 $1.5 \times 10^{-9} M$ の親和性を有する、請求項1から4のいずれかに記載の抗体。

【請求項7】

抗体が、マウス抗体、ヒト抗体、ヒト化抗体、キメラ抗体又は抗体フラグメントであり、及び、

任意に、抗体がモノクローナル抗体である、

請求項1から6のいずれかに記載の抗体。

【請求項8】

抗体が、モノクローナル抗体ACO-2のヒト化型又はキメラ型を含み、又は、

任意に、抗体がモノクローナル抗体ACO-2である、

請求項7に記載の抗体。

【請求項9】

抗体が抗体フラグメントであり、

任意に、抗体フラグメントが、Fab、Fab'、F(ab')<sub>2</sub>、Fv又はscFvフラグメントを含む、請求項1から8のいずれかに記載の抗体。

【請求項10】

ATCCアクセッショ番号PTA-7778を有するハイブリドーマによって産生される、抗インターフェロンアルファ（“IFN”）モノクローナル抗体。

【請求項11】

請求項10に記載のモノクローナル抗体のヒト化型。

【請求項12】

請求項1\_0又は1\_1に記載のモノクローナル抗体の抗体フラグメントであって、  
任意に、抗体フラグメントが、Fab、Fab'、F(ab')<sub>2</sub>、Fv又はscFvフラグメントを含む、  
前記抗体フラグメント。

【請求項1\_3】

請求項1から1\_2のいずれかに記載の抗体をコードする核酸を含む宿主細胞であって、  
任意に、宿主細胞がハイブリドーマである、  
前記宿主細胞。

【請求項1\_4】

モノクローナル抗体ACO-2を産生するハイブリドーマであって、  
任意に、ハイブリドーマが、ATCCアクセスション番号PTA-7778を有する、  
前記ハイブリドーマ。

【請求項1\_5】

IFN タンパク質サブタイプA、2、B2、C、F、G、H2、I、J1、K、4a、4b及びWAから成る群から選択される少なくとも1つのIFN タンパク質サブタイプの異常発現に付随する疾患又は症状を、対象者でIFN タンパク質サブタイプDの生物活性を中和することなく治療するための医薬組成物であって、

請求項1から1\_2のいずれかに記載の抗体の有効量を含み、  
前記生物活性がMxAプロモーターの活性化又は抗ウイルス活性である、  
前記医薬組成物。

【請求項1\_6】

疾患又は症状が、全身性紅斑性狼瘡(SLE)、宿主対移植片病(GVHD)、I型糖尿病、エイズ、狼瘡、乾癬、及び自己免疫甲状腺炎から成る群から選択される、請求項1\_5に記載の医薬組成物。